

NPO 地域資料デジタル化研究会平成 14 年度事業実績報告

1 総会等の開催

(1) 年次総会

日時：平成 14 年度 5 月 21 日午後 7 時半～午後 10 時

場所：山梨県石和町東高橋 常德寺客殿

内容：役員を選任、定款の制定、事業計画・予算案の審議、

(2) 例会

毎月例会を開催し、本会活動の打ち合わせと会員相互の懇親を行った。

< 特定非営利活動に係る事業 >

2 地域資料デジタル化の研究と実践

(1) ホームページの運営

本会のホームページを公開した。会則や入会の受付フォームを掲載した。

(2) デジタルアーカイブの構築

会員が採録した地域資料をデジタルアーカイブ（仮称日本文庫）として公開した。

< 本年度公開した地域資料 >

「郷土風景創作版画と其の作り方」（9 月 13 日）「伊東けい子作品集」（11 月 22 日）

「ハイチ友の会ハイチ交流記録」（11 月 22 日）「甲斐路の道祖神」（12 月 26 日）

『へエケエ一分集へエタラ百韻 完』を試作内部公開

なお NPO 文化資源活用協会と提携して計画した「郷土芸能のデジタルビデオライブラリー」の設立は次年度に持ち越した。

(3) リングサーバーへの参加

産学協同プロジェクトである「Ring Server」に参加し、上記デジタルアーカイブを公開した。

(4) 会員メーリングリストの運用

会員相互の連絡、情報交換のためにメーリングリストを開設した。

(5) 会報（紙媒体）の発行

広報委員会を設置したが、準備不足により創刊を次年度に持ち越した。（会員への情報提供はメーリングにより即時提供できた）

3 地域資料デジタル化に関する普及啓発

(1) 公開シンポジウムの開催

本会は NPO 文化資源活用協会と共催で、県立博物館シンポジウム実行委員会を設置し、公開シンポジウム『デジタルで変わる 21 世紀の博物館』を以下の要領で開催した。会場の模様は文資協がビデオ撮影した。

日時：平成 14 年 7 月 20 日（土）13:00 開場 / 13:30 開演～17:00 終了

場所：山梨県立総合女性センター 2F 中研修室

主催：博物館シンポジウム実行委員会

共催：特定非営利活動法人 地域資料デジタル化研究会

特定非営利活動法人 文化資源活用協会

参加者数：76 人

参加費： 無料

出演者：キーノートスピーチ：山本育夫（ミュージアムマガジン DOME 編集長）

シンポジウム：たかひでこ（コーディネーター/フリーアナウンサー）山本育夫（ミュージアムマガジン DOME 編集長）河澄修（山梨県情報サービス産業協会常務理事）

澤谷滋子（長坂町郷土資料館学芸員）濱崎好治（川崎市民ミュージアム学芸員）

（２） 地域資料デジタルアーカイブ展示・体験会の開催

甲府市アイメッセで開催された「2002 山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」に参加し、展示を行った。

日時：11月21日（木） - 23日（金）

会場：アイメッセ山梨

1. ブースはデジ研と文資協で協力して運営した。

2. パネル展示資料は、県立博物館に対する提言内容を掲示した。

3. デジタルコンテンツ展示は、「郷土風景 創作版畫と其の作り方」, 「伊東けい子作品集」, 「博物館シンポジウムビデオ」, 「県知事に対する博物館提言ビデオ」などを展示した。

4. 来場者に対して、デジ研を宣伝するリーフレットを配布した。

（３） 山梨県立博物館について山梨県知事に政策提言

山梨県立博物館のあり方に関して本会とNPO文化資源活用協会の合同で9月17日午後3時50分から、県庁知事室において天野知事へ「県民参加とデジタルアーカイブを整備した県民ミュージアムを実現すべき」とする県立博物館要望書を提出した。

デジ研からは役員として小林理事長、丸山副理事長、井尻事務局長、須田事務局長が出席、文資協は深沢理事長、角井常務、山路理事、職員三人が出席した。県側は知事、県教委次長、博物館建設室長、担当学芸員が対応した。提言の様子は、文資協がビデオ撮影した。

（４） 本会のマスコミ紹介

NHKが全国放送でデジ研活動を紹介

日時：平成14年5月11日（土）17:00 ~ 17:50 NHK衛星第1放送
タイトル：「わが町の文化をITで全国へ」

行政と地域NPOが協働して、これからの財政難の時代に、新たなコミュニティビジネスをどう作っているか。そのモデルとしてデジ研の活動が紹介された。会員が道祖神史跡などを調査し、記録している様子を映像取材にて紹介した。

4 図書館・博物館等の学習施設の情報化及びサービスに資する事業の受託

（１） 山梨県立文学館から収蔵資料の整理とデジタル化データ入力作業

前年度からの継続。平成14年4月1日 - 平成15年3月31日の1年間、業務を受託した。延べ6人が勤務した。

（２） 「甲州方言デジタル辞典」の製作作業受託

山梨ことばの会より、「甲州方言デジタル辞典」の製作を以下の内容で受託した。

1、「甲州方言デジタル辞典」は、県内の方言に関する文献から語彙を収録し、データベース化したものから作成するものである。

2、この辞典は、CD-Rに焼き付けて、パソコン上で、方言語彙の意味、用例、出典、使用地域の検索ができる21世紀型辞典とした。

3、この事業は2年次に渡り進行するもので、1年次は主に個人の刊行物から収録、2年次は市町村誌とする。

4、委託費により納入する成果物は、CD-R50枚と、紙媒体プリント5冊である。

(3) 山中湖村立図書館の開館準備への協力事業

山中湖村で住民主体により活動している「山中湖村図書館を考える会」の活動に協力し、NPOが運営主体となった図書館のあり方を考える研究交流集会を開催した。

日時：平成15年3月13日(木) 19:00~22:00

場所：山中湖中央公民館

参加者：住民14人(村役場1人)、デジ研11人

5 他の団体、有識者等との交流事業

(1) 山梨県知事提言に向けて県教委と事前協議を行った。

日時：8月7日(水)

場所：県教委

出席者：小林理事長、井尻事務局長、井口教育次長、建設準備室長、準備室職員2名

協議概要：当方の準備した提言について説明を行い、29日に予定する知事への要望書提出の取扱いについて意見交換した。

(2) 県立博物館に関する意見交換会を以下のように開催し、参加者が博物館の建設を推進する立場から自由に意見交換を行った。

日時：平成14年8月20日午後7時~10時

場所：石和町常德寺 デジ研本部

議題：博物館建設の推進について

出席者：デジ研、文資協、つなぐNPO、県建設準備室長以下担当スタッフ

(3) 全国デジタルアーカイブ大会への講師出席

全国デジタルアーカイブ協議会が10月30日、石川県金沢市で開催した全国デジタルアーカイブ大会に丸山副理事長が講師として出席し、デジ研と文資協について山梨の地域デジタルアーカイブ事例を発表した。

(4) やまなしまなびネット・やまなし生涯学習フォーラム2003

山梨県生涯学習推進センターが3月13日、甲府県民文化ホールで開催した第6回山梨県生涯学習推進研究大会「やまなし生涯学習フォーラム」で小林理事長が基調講演を行った。

(5) 熊本住民ディレクター岸本さんの話を聞く会へ参加

NPO文化資源活用協会が須玉町津金の「三代校舎ふれあいの里」で2月6日行った熊本住民ディレクター岸本さんの話を聞く会へ参加し、有限会社プリズム代表者代表取締役岸本晃氏の講演を聴いた。

(6) やまなし県NPOセミナーで事例発表

山梨県・県ボランティア協会共催NPOセミナーが2月12日午後1時から甲府・県自治会館で開催され、デジ研から事例発表で、小林理事長、中沢さんが講師として参加した。

<収益事業の実施>

なし

平成14年度 NPO法人 地域資料デジタル化研究会 収支決算報告書

1. 収入額 10,931,171円

2. 支出額 9,614,536円

3. 差引残額 1,316,635円

収入の部

平成15年3月31日

収入科目		当初予算	決算額	比較増減	備考
款	項	目			
1	会費収入		310,000	345,000	35,000
	1	会費収入	310,000	345,000	35,000
		1個人会費	200,000	325,000	125,000
		2団体会費	10,000	0	-10,000
		3賛助会費	100,000	20,000	-80,000
2	事業収入		9,016,350	9,616,350	600,000
	1	受託収入	9,016,350	9,616,350	600,000
		1県立文学館	9,016,350	9,016,350	0
		2(田富町図書	0	0	0
		3八ヶ岳こは	0	600,000	600,000
3	補助金等収入		0	0	0
	1	補助金収入	0	0	0
		1地域活性化	0	0	0
	2	助成金収入	0	0	0
		1助成金収入	0	0	0
4	寄付金		100,000	178,000	78,000
	1	寄付金	100,000	178,000	78,000
		1寄付金	100,000	178,000	78,000
5	雑収入		10	113,611	113,601
	1	雑収入	10	113,611	113,601
		1受取利息	10	23	13
		2雑収入	0	113,588	113,588
6	借入金		0	0	0
	1	借入金	0	0	0
		1借入金	0	0	0
7	繰入金		0	0	0
	1	繰入金	0	0	0
		1繰入金	0	0	0
8	繰越金		678,210	678,210	0
	1	繰越金	678,210	678,210	0
		1繰越金	678,210	678,210	0
合計			10,104,570	10,931,171	826,601

支出の部

支払科目		当初予算額	決算額	差引残額	備考
款	項	目			
1	事業費		6,598,000	8,937,145	2,339,145
	1	職員費	5,398,000	8,329,160	2,931,160
		1給与	5,220,000	8,164,762	2,944,762
		2諸手当	108,000	120,000	12,000
		3福利厚生	70,000	44,398	-25,602
		5退職積立金		0	0
	2	報償	950,000	586,785	-363,215
		1報償	450,000	586,785	136,785
		2謝金	500,000	0	-500,000
	3	旅費	250,000	21,200	-228,800
		1旅費	250,000	21,200	-228,800
2	管理費		2,270,000	677,391	-1,592,609
	1	需用費	640,000	170,964	-469,036
		1消耗品費	60,000	31,885	-28,115
		2光熱水費	60,000	36,492	-23,508
		3会議費	120,000	58,149	-61,851
		4印刷製本費	300,000	0	-300,000
		5修繕費	100,000	44,438	-55,562
	2	役務費	220,000	233,508	13,508
		1通信費	120,000	157,489	37,489
		2保険料	100,000	76,019	-23,981
	3	借上料	100,000	0	-100,000
		1借上料	100,000	0	-100,000
	4	備品費		1,354	1,354
		1備品費		1,354	1,354
	5	負担金	290,000	261,565	-28,435
		1負担金	270,000	261,565	-8,435
		2諸会費	20,000	0	-20,000
	6	委託費	500,000	0	-500,000
		1委託費	500,000	0	-500,000
	7	公課費	20,000	10,000	-10,000
		1公課費	20,000	10,000	-10,000
	8	借入金返済	500,000	0	-500,000
		1借入金返済	500,000	0	-500,000
3	予備費		1,236,570	0	-1,236,570
	1	予備費	1,236,570	0	-1,236,570
		1予備費	1,236,570	0	-1,236,570
合計			10,104,570	9,614,536	-490,034